

經濟週刊

青島日本商業會議所

大正十二年七月廿一日發行
每週木曜日

石橋副會長外五名は總領事館に八木領事を訪問せ
本日午後一時より特定運賃に關し會議室に於て協
議會を開會し午後三時閉會出席者青島製粉會社百

告會を兼ね晚餐會を開會出席者佐々木會頭外二
十一名にして午後九時二十分終了散會せり
一、七月二十八日上海駐在橫濱商務官來青に付午後
三時より會議室に於て懇談茶話會を開會し午後七

△本號記事▽

- 内地市況 (六月中)
 - 山東省に於ける產銷稅の實施に就て
 - 青島鹽田落札問題
 - 支那各地現行擔稅の比較
 - 產銷稅の新設に對する濰縣商民の態度
 - 膠濟鐵路敷設豫定
 - 銀塊並爲替 (自二十三日)
 - 商況 (自二十三日)
 - 坊子炭礦の現況
 - 官有土地貸下假規定

内地市況 六月中

○財界概觀

○金融界 六月金融界は生絲資金の放
出に始り月末決済資金の需要にて異常の
繁忙を示し末日コールローン日歩三錢五
厘と云ふ如き高率を示せり三十日銀貸
出高三億六千三百萬圓兌換券發行高十三
億七千萬圓を示せるが之(一)產業界一部
の整理行はれたるも銀行貸出内容の現狀
が尙多大の固定貸を保有し(二)當局の金
融政策も緊縮方針を變ぜざるに(三)貿易
入超の趨勢本月に入りても尙熾まざるに
因り六月末日正貨保有高は十七億九千
三百萬圓五月末に比し四百萬圓を減せり
(一)内地金利高の爲め引續き民間の外債
募集及内地市場の公債輸出は(二)政
府は減債基金に依り二千二百萬圓の公債
買入償還を行ひ(三)生絲資金の回收上
期決算資金の返還等は下半年金融緩和の
材料にして下半年貿易が相當の恢復を
示すならば金融市場は大勢同調を繼續し
つゝ整理を進むることとなるべし

○外國爲替 對米爲替の昂騰は市中四
十九弗を最高とし其後金輸出解禁の實
行されざるに生絲輸出不振に伴ふ貿易逆
勢の懸念にて四十八弗迄低落を見たるが
正金は四十九弗を維持しつゝありて差當
り四十九弗中心と見て可なるべし「クロ
スレート」は引續き對英輸出到來にて
四弗五十仙臺に落ち込み一方東電債金

の取寄せもあり自然對英は引續き昂騰の
氣配を示せり滿鐵は八月期限社債三千五
百萬圓の内千五百萬圓を英國市場にて募
集の計畫あり臺灣銀行の整理完成せるに
從ひ日本銀行の援助融通額三千萬圓の擴
張漸次行はる可く旁々同行に於ては對南
洋方面輸出金融の改善を期し輸出手形を
一覽表後九十日とし、手形の融通を容易
にし手形買入の極度擴張等漸次營業者の
希望なり

○財政

十一年度租稅實收高は八億九
千五百九十一萬圓豫算超過一億六千六百
十萬圓超過の主なるものは關稅の三千六
百萬圓酒稅の三千三百萬圓砂糖消費稅の
二千九百萬圓所得稅の二千五百萬圓なり

○貿易

六月の貿易は輸出一億一千萬
圓輸入二億八百萬圓差引超九千八百萬
圓にして五月以上に達し年初四ヶ月の昨
年に比し順調なりし經過は此兩月意想外
の大入超にて上半期合計昨年(三億七千萬
圓)に比し二千萬增加の三億九千九百萬圓
なり而も今後下半年は更に(一)米國財界
の不振(二)内地春來の景氣に依る物價の
反騰並に(三)對支輸出の障害に依りて輸
出恢復が微微たりとなし悲觀的觀測多し
之に對し日銀及大藏省當局の豫想なりと
して傳はらるる處に依れば上期の入超を
三億二千三百萬圓下期の出超を一億七千
萬圓乃至二億萬圓と見込み差引本年中の
入超を一億五千萬圓見當と見積れるも
昨年下半年の出超が一億一千萬圓に過ぎ
ざりしより見て稍々樂觀に過ぐるの嫌あ
り今各種商品について下半年の貿易を考
察したる比較的中正の觀測を見るに輸入
に於ては棉花と豆粕は今後一段落を告げ
小麥、石炭、豆類、羊毛等は増加の傾向あ
るべきも砂糖、毛織物は同調鐵材木材及
米は減少を示すべく從來の思惑に對する
反動も加はり大體昨年同調と見るべく輸
出に於ては生絲の對米及綿織物の對支夫
夫減少と見るべく其の他絹織物綿糸石炭

○商品市場

世界市場に於ける重要商品の供給不足
氣構に依る騰勢は大體四月迄に反動下落
の傾向に轉じ今日に於ては各市場共先安
氣分に支配せらるるの狀態也本邦市場に
於ても生絲綿糸及砂糖市場は勿論銅鐵
其の他金物類(「ケール」問題の影響に依
る)及小麥市場何れも同調を辿り獨り内
地市場に於て好況を示したる米、モスリ
ン、セメント等の商品も最近一段落を呈
せり然るに春初めの市價騰貴に依る輸入増
加は全國倉庫在庫をして五月四億七千八
百萬圓に達せしめ二月最低時に比し二割
の増加を示せり(但し昨年五月の五億九
千萬圓に比すれば遙に少し)今後は之等
在荷凭れ米國財界の不振支那の排日貨金
融難の現狀より推して商品市場の沈靜季
を氣構へらるるも現在悲觀氣分の濃厚な
るだけ秋季景氣の立直り速なるを豫想す
る向あり

○生絲

六月新糸期に入り崩落を重ね遂に二千圓
臺割れを演じ爾後當初東海路百三十掛見當のもの
(絲價に直して大體二千二百圓)昨今東北の百掛乃
至九十掛全國平均仕入掛目は百十三掛六分五武州
格にて工費三百五十圓と見て新絲採算二千九百圓乃
至二千四百圓現在新糸市價二千三百圓見當に比し七十
圓内外の損失なれば製糸家は春蠶に於ける此喪失を
夏秋蠶に於て補填せざるべからず濱表在荷は昨今三
百圓に達し人氣腐れるも米國買控も久敷ければ先行
相當買氣あるべきに觀測せり月中輸出一萬六千俵

○絹織物

羽二重は原料糸安にて相當安値に叩か
れ六月輸出二百八十萬圓に減少上半年輸出累計四千
百八十萬圓と昨今の二千五百五十萬圓に比し四割二
分減少を示したり絹織物三四月生産月額七萬疋に上
りしもの昨今粗製と季節外れに買氣頓挫福井滯貨は
合格品二萬五千疋不合格一萬疋と稱せらる價格は百
斤七圓臺に落ち込み濱商人中破産に瀕するものあり
りて主産地福井は今後も休機をなす趣なり、不二絹
も其後濱洲方面見送りにて商内不調滑の處粗製品
の製産もあり不安人氣にかられ昨今相場暴落P.K品一
圓にて近年の安値を見せたり上半年中絹織物輸出總
計に於て六百三十六萬圓の激減なるに先行需要喚起
も困難にて各方面共不振對策に汲々たり之が對策の
一例として福井縣にては支那三絲に依る試織をなし
輸入稅撤廢を叫びつつあり

○綿絲

米棉は收穫豫想減にて氣丈なれども棉絲
は内外實需の不振にて月末定期先限二百五十圓臺を
割りたり將來輸出反動買氣及原價採算上の樂觀も
ありて無下に押さず對印對支共輸出爲替昂騰の不利
あり對支は排貨の影響もあるに需要期の註文簿に
て不振を續け月中生産高十九萬二千五百圓に減少輸
出一萬二千四百圓前月の半減前年同月に比し三萬三
千圓の減少に當れり一部に操業短縮増加起れり
○綿布 支那排貨、印度不賣並に内地白木綿慘落
等にて綿布市況不味支那は粗布細織に注文弗々ある
も本邦高に商賈見送り印度は不相變亞弗利加方面よ
り粗布及綾類の需要あり商談成立せるも「モンズ
ン」經過不其等にて奧地沈黙の機嫌、南洋方面は「ボ
ルネオ」地方の粗布、大正布買附あり綿織は四月以
後内地向需要増加せるも英米競爭品の割安據頭にて
不振を續け一月以降四月迄に於ては昨年に比し六十
三萬圓を減少し貳百四拾萬圓とされり
六月中綿布輸出四千三百萬ヤール一千百十萬圓前月
比較百七十萬圓を減少
綿細絲の供給並に染色加工技術の研究を目的とする
染業試驗所設立に關する運動最近盛となり來年度農
商務省事業として二百五十萬圓豫算計上方を提唱し
つつあり

○米

月央定期先物三十八圓臺迄買進まれたるも其
後財界四圓の不買に低落月末三十五圓を割るに至れ
り

○小麥

米價安及海外外落に内地製粉市價三圓三
十錢迄崩落せる處本年内地作柄は八分作五百二十萬
石發表あり又昨年七月以降本年五月迄の輸入小麥は
二十七萬噸に過ぎざることを判明し最近本年度製粉原
料(明年六月迄の分)として八九月の對米買付旺
盛十三萬噸に達せる趣最近歐洲筋の買付も傳はられ
殘手當三十三萬噸内地製粉市價安定を見て再出動
を見る可し

○澱粉

和蘭產澱粉の輸入は本春來二千百噸尙引
續き三千噸輸入の見込にて北海產不作も利かず昨今
相場日本產七月十圓九十錢八月十圓和蘭產七月

びしが土曜三志八分の三標金三百四十四兩四〇となり英米クロス保合状態を呈せるも日米爲替は漸騰の傾向を辿り居れり

金銀相場表

倫敦銀塊	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8
紐約銀塊	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8
大連銀塊	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8
青島銀塊	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8
市價	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8	三三 1/8

爲替相場表

英米爲替	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2
正日本爲替	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2
同倫敦向	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2
同上海向	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2
同天津向	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2
同滿洲向	100 1/2	100 1/2	100 1/2	100 1/2

商 況

重要品市況

○綿糸 前週の商盛に引續き週初は實需方面の買氣依然衰へざるを在荷の不潤澤を氣構へ問屋筋の思惑買進ありて活況を呈せるも週半以後客筋の出廻り中絶せると米棉暴落に依る大阪、上海の軟報を移して一般買氣頓に衰へ僅かに二十手の當用買ありたる外商談閑散各品相場は漸落歩調を辿りつゝ本週を終れり、成行左の如し

銀 同(十六手)	一四七五	一四七五	一四七五
金 貨 同	一四七五	一四七五	一四七五
花 蝶 同	一四七五	一四七五	一四七五
五 彩 星 同	一四七五	一四七五	一四七五
銀 月(二十手)	一四七五	一四七五	一四七五
宮 女 同	一四七五	一四七五	一四七五
室 船(二十手)	一四七五	一四七五	一四七五
小 田 原(廿二手)	一四七五	一四七五	一四七五

○砂糖 海外市況の活況を眺めて當地は依然小巾往來ありたるに過ぎざりしが當座小口用として多少の荷動きありたる爲め市中在荷は漸次品薄を告げ之が爲め中秋前の品物拂底豫想筋の買氣を誘致し約一萬擔見當の成約を見たるが週末相場はT E 庫渡十五弗四十錢見當を保合へり

○燐寸 青島附近に於ける當座用小口荷動きありたるのみにして市況閑散を極めたり

○花生油 夏枯閑散期に入りて歐洲方面全然見込無く獨逸方面も目下の窮乏せる經濟狀態にては比較的割高の花生油に對し買氣を誘ふに至らず市場は廣東幫の獨舞臺にて十九元より週末十九元十錢見當迄出荷あれば片端より買進み居れるが時期の關係上出廻漸次減少の有様にして新物出廻迄は現狀維持の外大した變化無かるべしと豫想せらる

○花生實 米國方面の買氣全然杜絶し日本方面は僅かに小口積出しを見るのみにして夏枯閑散期に入り出廻り特に減少し僅かに西南口貨の出荷を見るのみなるが廣東幫の買物相變らず旺盛にして出荷は悉く其手に收めらるゝ有様にて一般に其消化力の偉大に驚かれつゝあり、穀付は新規約定全然見込無く只約定済不足分を買付けるに過ぎざるが歐洲市場も舊物に對し極度の値下げを爲したると同時に新物も一磅以上の値開きを示し愈夏枯閑散期に入れり

○干芋 本品は梅雨期品質低下により幾分内地の買氣を阻み商内歩々しからざりしが最近に至り品質幾分向上し内地方面の相當買氣を誘ひたる爲めか當地相場も強含みの商狀にて三元五十錢と駢り保合を見せ内地阪神沖四圓四十錢宇品沖四圓五十五錢見當を唱へ居れるも最近青島F C B 三元三十五錢にて相當の商内成立せる模様なり

○穀 内地市場は近物に對し買氣無きも九月物に對し相當買氣を示し阪神沖八月物三圓五十五錢九月物三圓六十錢見當を唱へ居れるが當地相場は產地濟南地方の小麥高に伴れ高値唱へとなり濟南上物三元十錢下物三元五錢海州上物三元二下元八十錢見當にて愈々内地相場と不出合姿に推移せるを以て此高値にては何れも手扣への模様なれば茲當分活潑なる商内成立せざるべし

○小麥 本年作柄不良の呼聲高く相場漸騰の歩調を辿りつゝありし小麥は製粉筋の買扣へと頃來降雨潤澤に伴ふ今秋作柄良好見越しに相場は五錢方軟化を示したるも大口買物扣へに先行大した軟調を望まれざるべく週末高密物上五元六十五錢下五元五十錢海州物上四元八十錢下四元七十五錢大連物上五元下四元九十錢見當を保合へり

○鶏卵 連日の降雨にて出廻皆無の狀態にありたる本品は最近漸く弗々出廻り來りたるも產地々方に於ける貯藏相當日數に亘りたる爲め品質著しく低下せるも出廻薄に相場は却つて小高を示し週末二八物十五元三〇物十二元五十錢三五物十二元を稱へ居れるが雨上り後は必然出廻増加を來すべく内地は冷蔵物の入荷旺盛の爲め依然荷問へ狀態にあれば買氣薄に活潑なる商内無かるべしと豫想せらる

○牛脂 五月末激落以來上溢りの商狀に在りたる内地牛脂界は梅雨明け後各石鹼工場の需要遽かに増加し來りたる模様なれども現在大阪市中滞貨は支那品のみにて約六七萬斤に上る有様なるを以て不日滞貨の一掃を見るに於ては相當の買氣を示し來るべく目下當地相場は上物銀二十一元より二十一元五十錢處を中二十元五十錢下二十元見當を保合つゝあり

○牛肉 夏季需要閑散期の事とて内地市場相當荷問への狀態に在り積出見合せ

の電報各店に入りたる模様にて買氣薄と共相場は軟化し週末上物銀十二錢七八厘次物十二錢見當を唱へ居れり

○石炭 夏枯れ需要閑散期に入りしと共に輸出は一體不振の商狀を辿り殊に上海市場は開平炭の入荷依然順調を續け撫順炭も亦増掘計畫に伴ふ買進ありて日本炭の九州方面に於ける降雨被害による出炭減少も何等の刺激材料とならずして山東炭の上海市況は益々不利に陥り内地市況亦不味にして云ふべきものなし

地賣も夏枯不需要期に入りて荷動き甚だ閑散加ふるに博山方面の貨車線潤澤なるに従ひ同炭の出廻遽かに増加し貯炭の輸入を拒みたる一方爲替の不利は内地炭の入荷を阻害し今週中僅かに三井松浦塊千噸の入荷を見たるに過ぎざりしが本年排日以來海州市場の不買並に沿岸煉瓦製造の作業休止により同方面移出炭の數量激減し七月末小港貯炭約一萬七千噸に上り例年に比類なき不況を示すに至れり

取引所商況 (自廿八日)

○物 産

○生油 前週土曜に於ける本品の下落甚だしかりし爲め休日明け一寸見直し十八元七十五錢に寄附きマバラ筋の踏退ぎに十九元と上押中物十九元四十錢に引け翌日も亦引續き當限落ちの相場は商狀一服の姿にて稍ダレ氣味となり中物十九元廿錢より二十五錢見當を小往來し廿五日も亦中物のみの立會にて場面は愈々沈衰し十九元三十錢と無材料に全く商内出來す廿六日後場に於て當限十九元二十錢にて僅かに六車の商内ありたるに過ぎず廿七日も亦引續き無材料に新規商内殆んど無く週末銀安に幾分硬化を想はしめしも相場は却つて低落し後場亦其軟弱を持越したるがマバラの買物に當限十九元十錢

○錢 鈔 休日明け無材料に百三圓六十錢に寄附き六十六錢に引けたるが上海大連共に變化無き爲め當市場も何等動搖無く市況頗る沈衰廿四日百三圓七十五錢廿五日百三圓六十五錢と情氣滿々たりしが廿六日より先物立會始まりたる爲め無材料ながら乘機商内相當行はれしが上海標金、大連現物共駢り氣味に相場稍硬化し近先共百三圓八十五錢に引け週末廿八日倫銀三十片十六分の十三上海、大連の軟弱を入れて近物百三圓四十錢先物百三圓二十五錢に寄附きたるも漸次軟化したる上休日扣へに人氣惡化しマバラ投物現はれて安値百二圓五十錢を覗きしが結局六十五錢と小戻して打止めたり

○證 券 休日明け賣人氣依然旺盛の爲相當軟弱一節八圓七十錢に寄附き六十錢と軟化し更に會社内部の紛擾に日支人共手扣へ市場人氣引立たず一節八圓三十錢二節同値に下押したるが廿五日支那側の買進みに氣配良好となり一節八圓五十錢二三節八圓七十錢と小戻しせるも廿六日受渡扣と無材料に賣買相手手扣への姿にて市場氣乘薄となり一節八圓二十錢と落込み週末マバラ乘機筋の賣物及手仕舞物現はれて軟調裡に打止めたり

○株 信 休日明け引續き強調を辿りしも軟派は株信の昂騰を不合理なりとし空賣を爲せるを察知せる硬派はデリ／＼と買進み相場は益々強調となり二節四圓六七十錢四節四圓八十錢の高値を出したるも青取の不引立に牽制されて一頓挫し廿五日二節四圓十錢三節三圓八十錢にて僅かに商内ありしが廿六日は一節三圓五六十錢二節三圓六七十錢と下押し週末更に一節三圓十錢二節三圓二十錢と暴落僅かに手合出來たるのみ

事業界

坊子炭礦の現況

西炭礦

坊子西炭礦は坊子驛の西南二哩の所にあつて鑛區は七十九萬七千四百三十九坪可採鑛量は三百萬噸炭層は主要層二十尺上層二尺中層六尺六寸で正六年六月吉木周治、中山辰次郎兩氏に探掘を許可され翌七月四個の堅坑掘鑿に着手し同七年二月着炭爾來探炭を續けて居るのであるが最初右兩氏と山田三平氏が經營して居たのを大正八年十一月資本金三百萬圓の株式會社を組織し經營に参加せしめたのである拂込は四分の一七十五萬圓で今日の總投資額は百廿五萬圓と稱せられて居るとして着手以來昨年三月迄の探炭量は三百五十噸乃至四百五十噸位である其間には相當の利益を擧げたもののやうである四個の堅坑は何れも貫通し殘柱式に依つて採炭して居り地表より坑底まで三百十尺乃至五十尺に達して居るさうだとして第一堅坑から排氣並に排水をなし第二坑からは作業材料を卸し第三坑から空氣を通はせ第四坑から探掘炭を捲揚げることになつて居る機械の設備は汽罐六基唧筒大小十三基捲揚機大小五基である構内建物は汽罐室、倉庫、事務室、工場、檢炭室、發電所、運炭事務室、醫務室、宿舍、火藥庫、其他で二十九棟總建坪數は五百坪である運炭設備は坑内に据付けである捲揚機により卸坑道から運ばれた石炭を第四堅坑から半噸入ゲージ設備に依つて坑外に捲揚げ貯炭棧橋まで運ばれて撰炭夫が撰硬の後更に運炭鐵道に依りて引込線貯炭場に輸送せられた上貨車に積込み需要地に送ることになつて居る従業員は邦人技術員十八名事務員十二名朝鮮人雜役十名支那人職工百二十名常役苦力二百五十名坑夫七百名で坑内勞働に従事する苦力は探炭請負人に指揮されて働らくのであつて勞銀は平均五十仙であるさうだ

東炭礦

東炭礦は坊子驛の東南約十四町の所に在りて鑛區面積は五十六萬六千九百九十坪である埋藏炭量は約一千萬噸と稱し炭層は波狀を呈して居るから一定しないが最厚三十尺最薄二三尺に及んで居ると云ふことである炭質は無煙有煙の兩種炭で元獨逸人某が經營して中途に之を放棄したのを大正六年八月鈴木友二郎、松波銀之丞兩氏が探炭の許可を得直に事業に着手したが種々の故障が起つて投資額が高むので大正八年五月日華興業株式會社を組織して會社が該事業を經營することとなつた會社の資本金は五十萬圓であるが同炭礦に投資した額は着手以來一昨年未迄に於て百十萬八千圓に及んで居る同礦は二個堅坑を有し一は五尺に七尺の長方形深さ三百二十四尺槽の高さ二十六尺主として材料を卸し及び排氣排水に使用し一は上部經十一尺五寸底部十六尺の圓型深さ二百五十尺で總煉瓦捲とし槽の高さ四十五尺二段兩捲ゲージを有し出炭一日五百噸の捲揚能力があり又入氣に使用して居る機械の設備は汽罐三基(四五〇馬力)唧筒大小十二基捲揚機大小四基其他旋盤機械用具一切の設備あり貯炭場の面積五千坪棧橋五百尺建物三十二棟建坪數六百九十一坪軌道は貯炭場から引込線に通ずる約一哩を全部複線の輕便軌條とし外坑内外に約二哩の軌條を敷設して居る着手以來大正十年末までの出炭總量は九萬七千六百四十三噸であつて最初出炭全部を鐵道部に納めて居たが大正十年四月から納炭外は全部自由販賣を許され販賣に就ては支那人とも特約を結んで居るさうである探炭費其他の諸がりを計上して噸當り銀三圓五十錢であると云ふことだ

市場組合大正十二年決算報告

收入金		支出金	
店舖料	四、五七九	家庭貸下料	四、六三〇
水道料	二、八二四	水道料	九、五八三
電燈料	一、九一七	電燈料	一、九〇五
組合費	三、〇〇〇	給料	二、三六三
露店料	一、七六九	備品費	一、〇〇〇
雜收入	二、七九六	雜費	二、四六六
假受金	二、〇〇〇	消耗品費	二、八六六
組合加入金	八、〇〇〇	修繕費	二、〇八五
繰越金	八、八三三	電話料	三、三〇〇
合計	三三、九六二	總會費	三、三六九
右收支差引殘額	三、三六五	合計	二〇、八三七
内譯			
銀行預金	七、〇〇〇	現金	一、六六三
銀行預金	六、七〇〇	未收金	一、六六三

官有土地貸下假規則

(公布第五五號民國十二年七月廿五日)

第一條 本埠の官有土地は財政局に於て區域を規劃し地所番號等を編成したる上貸下を布告す但し特別の事情あるものは別件願出に依りて之れを辦理す森林内の官有土地の貸下を願ふものは貸下手續により處理する外地上にある樹木は農林事務所と財政局と立會の上其の價格を見積りて納入せしむるか或は他に賣却すべし

第二條 土地の貸下を願出するものは先づ本埠に確實なる保證人を具し財政局に願ひ出で許可を受くべし

第三條 貸下を願ひ出する時は左の事項を記載すべし

一、姓名年齢原籍職業現住所

二、使用目的

三、借地期限

四、願ひ出の番號或は希望地點及び面積凡て土地貸下げを願ひ出する時は財政局に就て審査し許可後貸下げ許可證を下附す

第四條 借地人にて都合に依り他行する時は管理人に委任し其の旨保證人或は保證店舖に通知し且財政局に届け出て審査の上記録に存し置くものとす

第五條 本埠の土地は中國の慣例に照し毎畝を二百四十方歩として計算し從來米突或は坪數にて貸下がある土地は許可證を引替ゆる時劃一記する爲め方歩に換算すべし

第六條 官有土地を貸下するに之れを九種に分つ左の如し

甲、青島市街地 五等に分ち方歩を以て計算す

乙、四方市街地 二等に分ち方歩を以て計算す

丙、工場地 二等に分ち同上

丁、青島區農業地 五等に分ち同上

戊、李村區農業地 五等に分ち畝を以て計算す

己、草地同上

庚、濕地同上

辛、臺東鎮三等に分ち當分の内二百平方尺を以て計算す

壬、臺西鎮 當分の内百平方尺を以て計算す

前項各種の地料率は別に之れを定む

第七條 借地料納入期は毎年四期に分ち一、四、七、十、の月に徵收す借地人は納稅告知書を受取り期限内に完納すべし

但し新に土地貸下を許可したる時は其の期の地租を計算し即時納入せしむ

第八條 借地人にして許可を得たる後用途が家屋建築する時は貸下げの日より起り三箇月以内に建築規則に従ひ請願書を提出し本公署の許可を受け其の許可の日より建築規則に定めたる期限に遵ひ工事着手すべし且起工の日を本公署に届け出づべし

第九條 借地の用途にして建築を爲さざる者なる時は貸下げの日より起り二箇月以内に工に着手し且着手月日を財政局に届け出づべし

第十條 氣候或は其の他特別の原因に據り前二條内の期間内に施設に着手し能はざる時は夫々其の事由を詳記し本公署或は財政局に延期許可を願ひ出づべし

第十一條 貸下地内を埋立て或は掘割して土地道路を變更し又は電柱及水道管等の埋設物に影響ある時は借受人より前に設計書を作り圖面を添へ本内署に許可を願ひ出づべし

第十二條 借地人は其の借地權を轉移し或は擔保とし又は賣買するを得ず但し地上に現存する建築物を賣渡さんとする時は許可を得て其の借地權を轉移する事を得其場合借地の期間は其の以前貸下の日より計算す

第十三條 借地人にして借地の用途或は建設物の豫定計畫を變更せんとする時は本公署に願ひ出で許可を受くべし

第十四條 左に記載する條項の一に該當する者は全部或は一部の借地權を取消す事を得

但し既に納入せる地料は一切返付せず

一、本規則第八條第九條の規定に違背するもの及び建築許可の期限を超えて工事竣工に到らず延期を願ひ出で許可を受けざるもの

二、借地人にして許可を受けずして擅自に地上物件の所有權を轉移したるもの

三、期限を超ゆるも地料を納入せず地租徵收假規則に取消處分を受けたるもの

四、本規則に違背し或は官廳より本規則を根據として發する命令に服せざるもの

第十五條 借地期限満了或は其の他の事由に據り借地人は官廳より指定する期限内に自費を以て地上物件を除去し土地を原狀に恢復すべし

但し特別の許可を経たるものは此の限りに非ず

借地人にして前項の規則を履行せざる時は官廳は適宜の處分を行ふ事を得

第十六條 許可を経ずして官地を侵し或は私用する時は使用したる期間内に對し地料の十倍以内に相當する處罰を加ふる事を得且其の上の物件は官廳にて適宜之れを處分す

第十七條 貸下げを受けたる土地にして建築物或は其の他施設物の有無を問はず公共事業或は官廳にて必要と認めたる時は何時にても之れを返納せしむ但し地上の建築物或は施設物に對しては相當の移轉費を給し或は公平の見積額を以て之れを買収する事を得且地料殘餘を還付すべし

第十八條 借地人にして土地の貸下を受けたる後特別の事由に依り借地の一部或は全部を返付せんとする時は一ヶ月前に財政局に許可を願ひ出づべし

第十九條 宗教慈善學校及び其の他勸業行為の如き公共事業の爲め土地の貸下を願ひ出でるものは酌量の土地料を減額し或は免除する事を得

第二十條 不可抗力或は官廳より正當と認めたる事情に因り借地の全部或は一部を使用する能はざる時は酌量の土地料を減額し或は免除する事を得

第二十一條 借地期間は其の用途に依り夫々許可證に規定を爲して記載す而して期滿の時特別の事故なきものは繼續借地する事を得

但し其の他の法令及山東縣案細目協定に特別の規定ある者は各其の規定に據つて處理す前項の借地にして借地期限満了たりとも官廳に於て必要と認めたる時は其の地代を變更することを得

第二十二條 貸下げ地境界は官廳より夫れ一丈量し石標を設立す其の立標費用は借地人の負擔とす

第二十三條 本規則は公布の日より之れを施行す

溪深氏外九名

寺より秋田會を新大長に開選せり